

親と先生の違いは何でしょうか。一番根本的な違いは、親は「自分の子ども」という立場で子どもを見ますが、先生は「クラスの子ども」という立場で一人ひとりの子どもを見ることが多いでしょう。親にとって良い先生というのは、自分の子どもを「みんなの中の一人」と

親の立場、先生の立場

して見てくれる先生であって、一人だけを特別に見てくれる先生は良い先生ではないのです。さまざまな子どもたちが、共に切磋琢磨して生きていくための場を与えてくれるのが学校の役割です。また、家庭の中ではできないことをやってくれるのが学校であり、この点にこそ保護者には期待してほしいです。自分の子どもを立派に育てたいと思うなら、自分の子だけではない

く、他人の子にも同じような思いで接しましょう。自分の子の成績を上げたいと思うなら、学校全体を支えましょう。また、担任の先生に自分の子どものことを理解してもらいたいと思う前に、まず担任の先生が、クラス全体の子どもたちに対してどのような関わり方をしているか、を学びましょう。担任の先生は、クラスの全員を平等に扱わなければなりません。いい担任の先生であれば当然、親が自分の子を大事にしたいという思いを持つと同じように、一人ひとりの子を大事しようと思うはず。本来、教師の情熱というのは、能力の劣っている子のほうに向かい、その子を「がんばれるね」と励まし



うまい・まさゆき ●1949年、徳島県生まれ。東京教育大学教育学部卒業後、同大学院教育学研究科博士課程修了。静岡大学教育学部助教授を経て現在、教授。著書『論文に『なぜ子どもは「少年ジャンプ」が好きなのか』『少年時代の親子の世界』『親が親になりきれない背景』他。

教師を責める親から教師を支える親へ

担任の先生は、クラスの子ども一人ひとりを平等に思っています。親はそのような先生の立場を思いやり、自分の子ではなくて他人の子を育てるといふ発想の転換をしたいものです。

馬居政幸(静岡大学教授)

撮影/西田充良 イラスト/長澤洋

学校を応援しよう!

最近、学校に対する社会的常識を超えた理不尽な要求をする「困った親」たちの問題がクローズアップされてきています。しかし、学校の先生を個人攻撃しても、先生を追い詰めるだけで問題は解決しないケースがほとんど。親も教師も、目的は子どもの成長のため、という点は一致しています。そうであるならば、子どもにとって一番良い関係を親と教師が築けるはず。です。



続けて、他の子との能力の差をなすべく縮めるように努力をしています。これが教師の役割だと思えます。ところが、このような先生の姿勢に対して、能力の高い子の親は不安に感じ、自分の子の能力をさらに高めたいから、この学校ではだめだという意識になりがちなのです。教師の立場を理解できない保護者というのは、クラスの他の子どもやその親の立場に立てないという事です。自分の子を特別に扱ってほしいとの思いが強く、他の子と同じように扱われることに對して、不満を持つ。そうなるしまつと、教師との付き合い方がわ

からなくなるのは当然です。

わが子だけが 主役ではない

かつて、幼稚園の運動会で自分の子どもを主役として映すビデオカメラのテレビ・コマーシャルがありました。現実には、自分の子しか見ない親がいます。でも、自分の子だけしか見ていないと、その愛する自分の子が立派な大人に成長するのに支障をきたすことになると考えてほしいのです。

わが子を育ててくれるのは、実は先生であり友だちなのです。わが子を心豊かに成長させようと思えば、友だち関係を含むわが子を取り巻く環境を豊かにすることが大切です。

親が育てられない子どもは多様な面を育ててくれるのが先生であり、クラスの友だちなのです。



学校との付き合い方を考えると、ぜひ学校というのは自分の子どもにとつてどういう価値があるものかを、改めて問い直していただきたい。そのうえで、先生と親とは立場が違うからこそ、子どもを違う尺度で見ることができるといふことに気付くのではないのでしょうか。そうすれば、おのずと先生に対して感謝の心も湧いてくるでしょう。この思いを大切にしたいですね。

若い先生、 年配の先生

一般的に若い先生に対して親は不安を持つと思われていますが、少し考え直してみてください。若い先生だからこそ、親は自分たちがこうあってほしいと望む先生に育てられるといえないでしょうか。

先生の立場に立てば、自分より年上の保護者たちが保護者懇談会などでずらりと並んだら、大変だという思いが湧いてくることでしょう。そのようなときこそ、先生と一緒にこの学級をつくっていくチャンスだと思ってください。先生の先輩として、若い先生を大きく包み込めば良いのです。ぜひ親が若い先生を支えてあげてください。

そして、先生に対する不安があったとしても、人生の先輩として

の智慧を働かせて、信頼と感謝に足る先生に育てていく。先生を非難するよりも、まず親が変わることと先生も変わっていく。実際には、難しいことですが、そのように接していくのが理想ですね。先生に対抗するためではなく、先生に良い授業をやってもらえるような条件を整えるために、親同士が連携するようになりたいですね。

一方で、年配の先生に対しては、安心感を持てると思われがちですが、この場合もそう単純ではありません。年配の先生の話は、時代に合わなかったりするからです。しかも、子どもたちや、教育環境も大きく変わったのだということを年配の先生に伝えるのは、これまた難しいものです。自分たちの気持ちを理解してもらうには、かなりの努力が必要かもしれません。

トラブルの際は 三者で話し合う

親に知ってもらいたいのは、まず担任がいて、学年主任がいて、教務主任がいて、教頭がいて、校長がいるという学校の仕組みです。担任の先生への苦情を校長に直接言うのは、担任を孤立させるだけで問題解決に役立ちませんから、できるだけ避けたほうが賢明でしょう。もちろん、校長や他の先生と親しくしていくということは大

事です。

では、担任の先生と何かトラブルが起こったときには、どのような処理の仕方が望ましいでしょうか。少なくとも親の側から一方的に、学校が悪いと決めつける態度だけはやめてほしいと思います。トラブルを解消するためには、担任の先生と二者だけで向き合うことはできるだけ避け、学年主任もしくは教頭をまじえた三者で話し合うほうがいいですね。

やむを得ず、担任を飛ばして、学年主任や教頭に相談することも

場合によってはありうるでしょうが、そのときに母親一人の思い込みで行動するのではなく、その前に、まず夫婦で子どもの話をよく聞くことです。

常に子どもの教育に関しては、「子育てはおまえの責任だ」と、夫に言わせないう、日頃から夫婦で情報を共有することが大切。子育てはあくまで生んだ両親一人の責任です。子どもと接する機会が母親のほうが多いのであれば、当然、情報量は母親のほうが多くなります。だからその情報を常に

父親側に伝えておく必要があると思います。それがあって初めて、夫婦で冷静に話し合うことができ、先生に対してどのように接すればよいか、正常な判断ができるわけです。



(談)

森の話をしよう。——王子製紙



エコフォレストという発想。それは、OJIの環境提言。地球温暖化防止のためのCO₂削減が、今、世界的レベルで求められています。CO₂を吸収する貴重な森林資源の荒廃をまねく無秩序な伐採、違法な伐採を排除するために、第三者機関が評価した森林認証材があります。この森林認証材を使った紙が王子製紙の「エコフォレスト」シリーズです。古紙を最大限利用しながら環境に配慮していく再生紙製品の選択に加え、森林認証材使用紙という新たな環境配慮型フレッシュパルプ製品への関心が、今後ますます高まってくる事を王子製紙では確信しています。



OJI PAPER
http://www.ojigroup.net

「エコフォレスト」は環境報告書、カタログなどに通じています。
※製品のお問い合わせ先は、資料のご請求は、
王子製紙 洋紙技術部 paperinfo@ojipaper.co.jpまでどうぞ。

森林認証取得印刷用紙
「エコフォレスト」シリーズ



Illustration 磯村仁雄

52 連載対談 教育と文化の王道

最終回 人間生命の光彩輝く世紀を
張鏡湖(台湾・中国文化大学理事長) 池田大作(創価大学創立者)

特集 学校を応援しよう!

- 25 教師を責める親から教師を支える親へ 馬居政幸
- 28 幼稚園・保育園の先生との付き合い方Q&A 滝口俊子
- 31 小・中学校の先生との付き合い方Q&A 田中博之
- 34 あなたの「困った親」度をチェック!
- 35 親を味方にした杉並区立和田中学校の工夫
- 36 モンスターペアレントにとまどう学校現場 大沢久子
- 38 【読者の声】学校の先生との交流
- 39 困ったときの教育相談窓口
- 40 まんがキラキラファミリー ちょっと困った親たちの巻 オーマエユーコ



中華街



水川丸(山下公園)

photo:吉田じん(横浜特集)

【特別インタビュー】

- 20 フィリピン国立ラグナ工科大学ワガン学長に聞く 人類に奉仕する「世界市民」の育成
- 44 一日一日を全力でプレーするのみ 羽生直剛
- 46 世界に「感動の架け橋」を築きたい! Hiroko
- 6 【わが家のほっとレシピ】中山忍 父のこだわり料理、創作パスタ【ミソベベロンチーノ】
- 12 【マイ・スクール・デイズ】石川さゆり 私をじっと見守ってくれた両親
- 68 【未来を育む 母たちの詩】 生まれた意味を教えてくださいました子どもたち 桐林京子
- 90 「教育の世紀」の若き太陽〜青年教師の挑戦〜 第4回 「勇気的一步」が目の前の壁を破る
- 94 【名作アサドク読みどころ】『桜の園』 チューホフ
- 5 物語の子ども【車輪の下で/ヘッセ】/福田 章・田中清代
- 10 【カンタン/手づくり工房】 ネームふた
- 16 新連載 ヘルシークッキング 生春巻きサラダ/桜のプランマンジェ
- 48 【親子のメディア・リテラシー講座】 橋出たより 『サザエさん』はなぜ人気があるのか?
- 50 【有田美智世のヘソの絡通】 「神戸希望の家」が3月からスタート

横浜特集

- 71 ふるさと写真紀行・神奈川
- 72 親子で行きたい横浜スポットガイド
- 74 ヤング・サンシャイン・イン横浜
- 80 【子育て機山河】丸山明子 夫亡き後、子育てと広布に走り抜く
- 84 【母を語る①】原知子 家族の「安心感の守り人」
- 85 【母を語る②】小川幸子 いつも包み込むように励ましてくれた
- 86 【私のヒューマン・レボリューション】 運野井 誠 本気で信じられる先輩と出会う
- 83 家庭教育へのアドバイス
- 100 【オピニオン】佐山 要 良書を読もう
- 101 シリーズ 子どもを伸ばすコーチング
- 102 TODAIはあと広場
- 105 『灯台』図書委員会 漆原智良
- 108 クロスワード・パズル/親子DEクイズ
- 106 【個み別】最近号の内容さくいん/新刊紹介/「第三文明」紹介
- 107 『灯台』グループ定期購読のご案内
- 109 愛読者レター

表紙クラフト制作:K&B/撮影:スタジオ21
休載/私のカウンセリング日記

愛してください、あなたの心臓。



アクティブなあなたを応援します!

●こんな時には救心!



階段や坂道で息が切れる...



更年期から...胸が...



急に戸外に出ると...



足取りが重く、息切れがする...



気力が出不い...

<救心>は生薬の働きで血流を良くし、自律神経の乱れを改善して、これらのつらい症状を治します。



村上弘樹



●お求めの際は《救心》《救心カプセル》《救心内服液》とご指名ください。医薬品

救心製薬株式会社

〒166-8533 東京都杉並区和田1-21-7 <http://www.kyushin.co.jp/> 詳しくはホームページで...

救心 検索

資料・試供品(形状見本)贈呈

ハガキに①試供品名②ご郵の雑誌名③〒住所④氏名⑤年齢を明記の上、弊社お客様相談室まで、なお、試供品(形状見本)は生薬強心剤「救心」「救心カプセル」に限らせていただきます。

頂いた情報は試供品発送以外では使用しません。但し、個人を特定出来ない状態で統計データとして使用することがあります。

